

ASEAN 看護師育成会からの活動トピックス

ハートフルナース

2013年1月号

インドネシアより

看護師受入れ開始

2012年3月に日本の看護師資格を取得した WIDDIYANTI JULIARさんが、12月より、医療法人偕行会名古屋共立病院にて就労されました。

資格取得から就労まで



国試勉強を行うウィディさん(右)

経済連携協定（EPA）に基づく看護師候補生として来日するも、願い叶わず一旦帰国をしていた WIDDIYANTI JULIARさん（以下、ウィディさん）は、昨年1月に当法人の支援を受け、他インドネシア留学生2名と一緒に再来日しました。

看護師国家試験の合格を目指し猛勉強をした結果、2月の試験に見事合格し、このたび

名古屋共立病院（名古屋市中川区）にて看護師として働くことになりました。

昨年11月に入国手続きが完了し、12月より医療法人偕行会の職員として入職しすぐに病棟に出て、清拭や介護、血糖測定など少しずつ現場での業務を広げていきます。

ウィディさんはその性格から、周囲のスタッフや患者様から早くも愛されていますが、人一倍努力家な一面もあり、一日も早く一人前の看護師になるべく真剣な眼差しで業務に取り組んでいます。

ウィディさんの思い

インドネシアで看護師として働いていたウィディさん。日本の高い医療技術を学びたいという思いで日本の看護師資格取得を目指し頑張ってきました。「こういう機会を与えて頂き支援してくれた方たちや周囲の方には本当に感謝しています。」と語ると同時に「インドネシアと日本では看護師の行う内容に違いはあるけど頑張って学んでいきたい。」「今後は日本の透析医療を身につけたい。」と意気込みを語ってくれました。



熱意を語るウィディさん